

令和6年度 目黒区もの忘れ検診の実施状況

1 概要

認知症に関する正しい知識の普及啓発、認知症の早期診断及び早期対応を推進するため、令和6年度から「目黒区もの忘れ検診事業」を実施している。

(1) 対象者

当該年度に67・70・73・76歳に達する区内に住所を有する方(9,539名)

(2) 実施期間 令和6年6月1日から令和7年2月28日まで

(3) 実施場所 区内契約医療機関(目黒区医師会に委託)

(4) 検査方法 問診及び認知機能検査(長谷川式簡易知能評価スケール、MMSE等)

(5) 検査費用 無料(精密検査は、保険診療)

2 実施状況(累計)

(1) 受診者 699名(受診率7.3%)

(2) 性別 男性:293名、女性:406名

(3) 年齢

67歳	70歳	73歳	76歳
145名	170名	157名	227名

(4) 総合判定 認知症のおそれあり 34名(受診者の4.9%)

3 受診後の対応・課題

(1) 要精密検査となった対象者については医師会による後追い調査(年2回、22件。

調査の概況は下表のとおり)を実施し、その後、必要な対象者へ地域包括支援センターとの連携によるフォロー(16件)を実施した。

概況	認知症	MCI※	異常なし	その他
件数	8	7	5	2

※MCI(Mild Cognitive Impairment):軽度認知障害

認知症と診断されないが、記憶障害などの軽度の認知機能障害が認められ、正常とも言い切れない中間的な段階のこと。

(2) 総合判定が「認知症のおそれあり」、かつ「経過観察」等の対象者へ地域包括支

援センターと連携してフォローを実施した。(15件)

- (3) 健康なことが健康なことの証明のために受診するケースも多く、疑いのあるかたの受診につながっているケースが少ないため、根気強く、周知や啓発の取り組みを進めていく。また、区関係所管や地域包括支援センターと連携し、日ごろの相談・支援の中で、受診へとつないでいく。

4 令和7年度の事業実施

令和7年度は対象年齢を拡大して実施している。

(1) 対象者

61・64・67・70・73・76・79歳に達する区内に住所を有する方
(18,345名。下線は令和7年度から拡大した年齢)

(2) 実施期間 令和7年6月1日から令和8年2月28日まで

(3) 実施状況(6月～11月分の状況)

ア 受診者 867名(受診率4.7%)

イ 性別 男性:381名、女性:486名

ウ 年齢

61歳	64歳	67歳	70歳	73歳	76歳	79歳
134名	125名	104名	113名	109名	156名	126名

エ 総合判定 認知症のおそれあり 43名(受診者の5.0%)

以 上